

RASCAL データベース複製の検証

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[CAD の RASCAL データベースを検証する](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Agent Desktop の RASCAL データベースの複製をすぐに検証する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco Agent Desktop (CAD)
- Microsoft Structured Query Language (SQL) Finesse Server

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

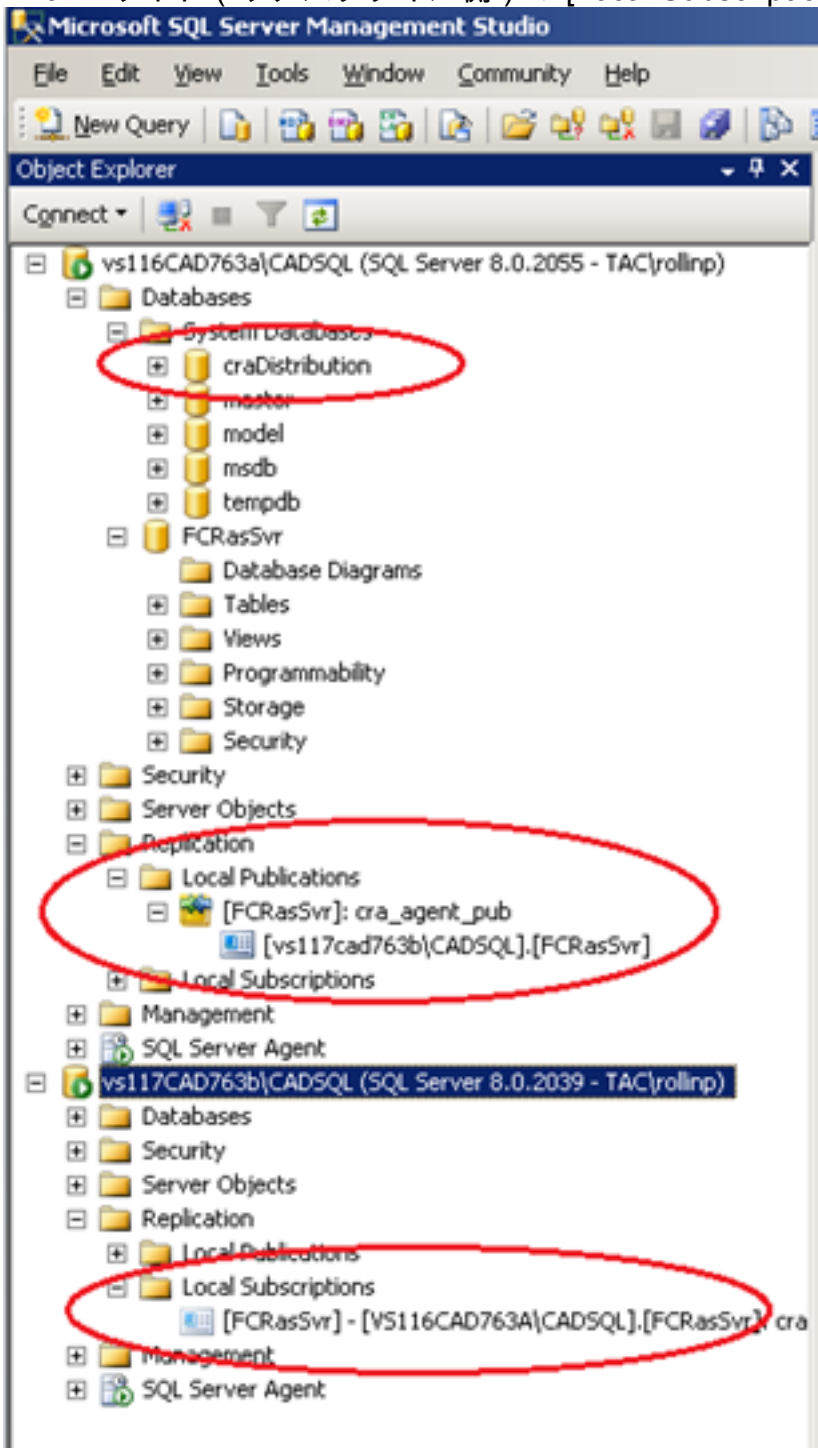
本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

CAD の RASCAL データベースを検証する

CAD の RASCAL データベースを検証するには、次の手順を実行します。

1. [System Databases] の下に [craDistribution] があるかどうかを確認します。

2. A サイド (パブリッシャ側) の [Local Publication] をチェックします。
3. B サイド (サブスクライバ側) の [Local Subscription] をチェックします。



複製が有効化されたら、マスター側の SQL Agent で SQL ジョブを検証します。

Job Activity Monitor - vs116CAD763a\CADSQL

Select a page: All Jobs

Refresh Filter ... Help

Agent Job Activity:

Name	Enabled	Status	Last Ru...	Last Run	Next Run	Category	Runnable	S
Agent history cl...	yes	Idle	Succee...	11/28/...	11/28/...	REPL-History Cl...	yes	y
CRS-Replicatio...	yes	Idle	Succee...	11/28/...	11/28/...	CRS-Repl	yes	y
Distribution clea...	no	Idle	Unknown	never	11/20/...	REPL-Distributio...	yes	y
Expired subscri...	no	Idle	Unknown	never	11/28/...	REPL-Subscripti...	yes	y
Rascal Databas...	yes	Idle	Succee...	11/28/...	11/29/...	[Uncategorized [...	yes	y
Rascal Transac...	yes	Idle	Unknown	never	not sch...	[Uncategorized [...	yes	n
Reinitialize subs...	yes	Idle	Unknown	never	not sch...	REPL-Alert Res...	yes	n
Replication age...	yes	Idle	Succee...	11/28/...	11/28/...	REPL-Checkup	yes	y
VS116CAD763...	yes	Idle	Succee...	11/27/...	12/2/2...	REPL-Snapshot	yes	y
VS116CAD763...	yes	Executi...	Cancell...	11/27/...	not sch...	REPL-Merge	yes	y

Status: Last Refresh: 11/28/2012 10:01:46 AM, Next Refresh: Manual, Filter: None

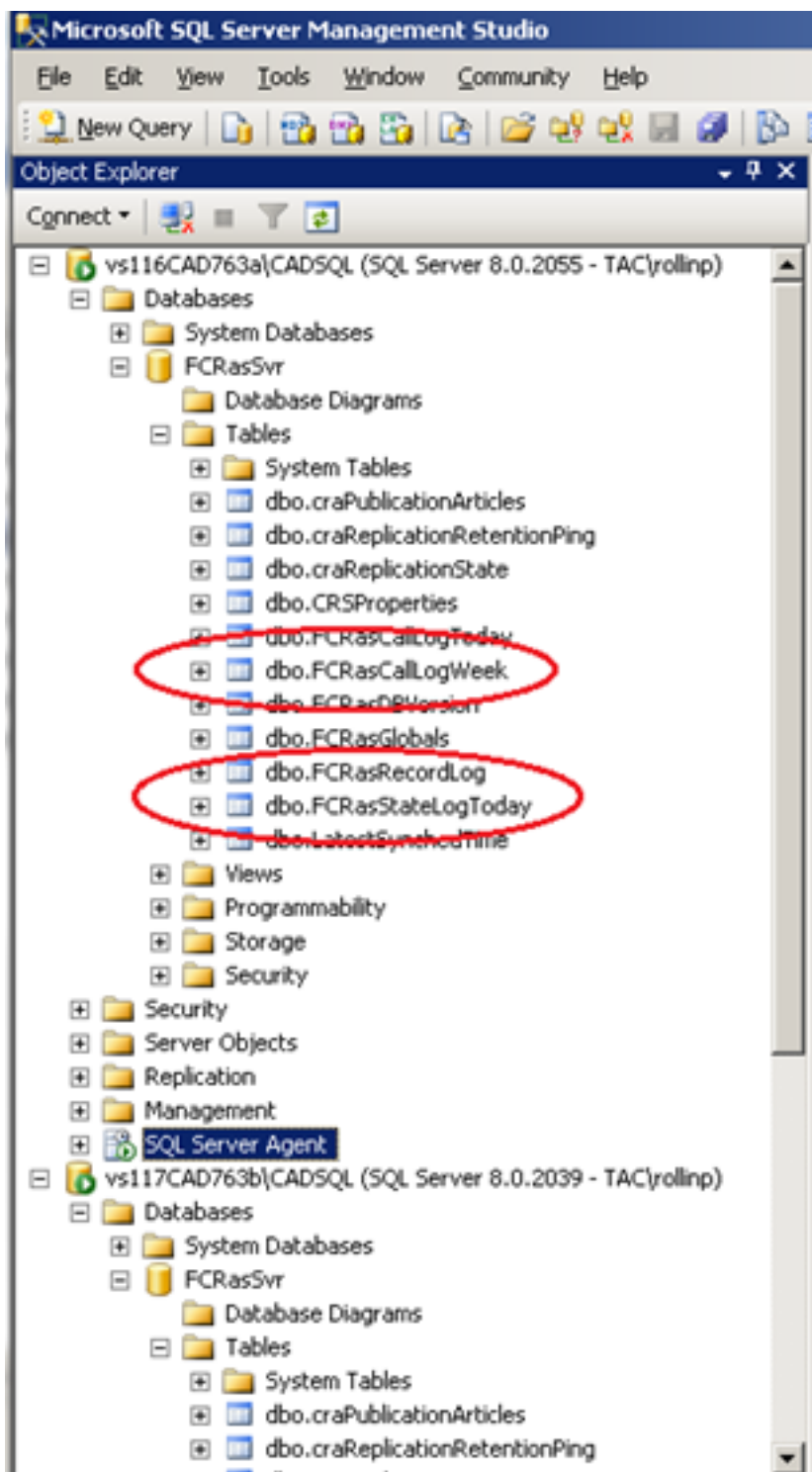
Connection: Server: vs116CAD763a\CADSQL, Connection: TAC\rolling

Progress: Done

[Category] 列にある [REPL-Snapshot] というジョブが、パブリッシャ データベースのイメージを作成しサブスライバ データベースに複製します。[REPL-Merge] というジョブは、初期データのプッシュ後に、パブリッシャとサブスライバ間でのデータ複製を続行します。

注: [REPL-Merge] の状態は常に [Executing] です。ジョブの数は、使用する CAD のバージョンによって異なります。

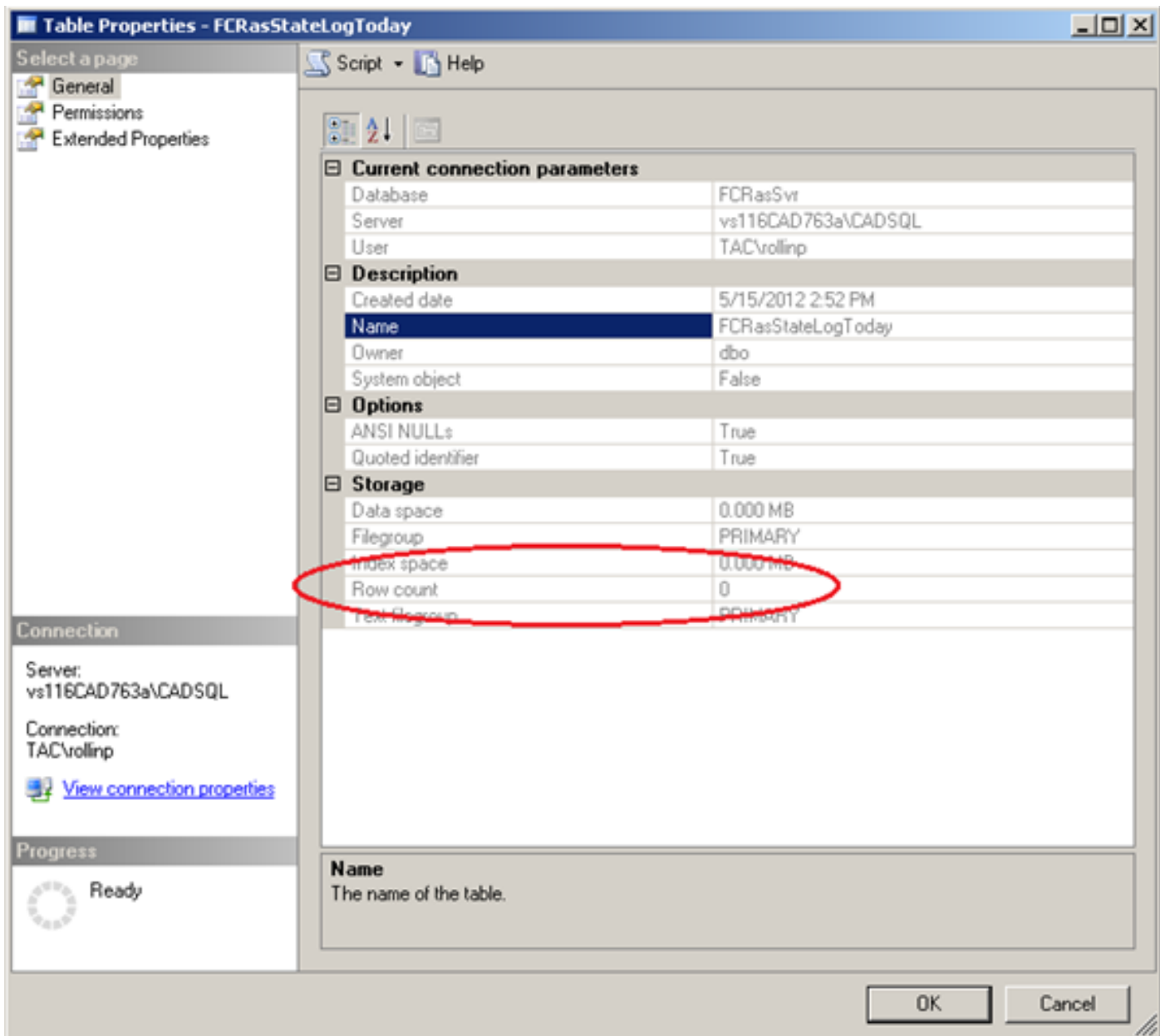
完了したら、データが複製されているかを確認するためにデータベースを比較します。



RASCAL サービスで書き込まれ、使用されるデータは 3 つのテーブルに格納されています。

- FCRasCallLogWeek
- FCRasRecordLog
- FCRasStateLogToday

[FCRasCallLogWeek] テーブルと [FCRasStateLogToday] テーブルのいずれかまたは両方を右クリックし [Properties] を選択します。



選択したテーブルの [Row count] フィールドで示されるレコード数をメモします。次に、もう一方のデータベースから同じテーブルのプロパティを確認します。大きくて多忙なコールセンターなどでは、数値がいくらか異なることはあり得ます。ただし、一方が数千レコードで他方がゼロであれば、明らかに問題が生じています。